

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

9

september
2024

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた



2024年度役員研修会 第1講
(株)山形ピッグファーム 代表取締役 阿部秀顕氏



カンファレンスセンター 2024年度役員研修会 第2講
CONFERENCE 中小企業家同友会全国協議会
会長 広浜泰久氏(株)ヒロハマ 取締役会長



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2024年度スローガン

自社の存在意義を問い直し、
地域と共に豊かな未来へ

同友会運動と企業経営を 不離一体として発展させよう



6月18日、7月24日の二回にわたり、TISカンファレンスセンターにて2024年度役員研修会が行われました。同友会役員役との役割とは何かを学び、同友会運動と企業経営を両輪として自社の発展につなげる力を養うことを目的に開催され、両日合わせて延べ66名が参加しました。

6月18日に開催された第1講は、山形同友会 副代表理事 阿部秀顕氏(株)山形ピッグファーム 代表取締役)が「同友会と企業経営は不離一体～同友会で何を学び、どう実践してきたか～」をテーマに講義しました。

同友会での学び

阿部氏は、先代の社長が会員で自身が専務の頃から同友会に参加しており、事業承継にあたり経営指針をつくる会を受講するため入会。当初は労使の関係づくりをせず、仕組み作りなどの表層的な部分にしか目がいかず、自社で活かそうとしても上手くいきませんでした。しかし、経営指針をつくる会で労使見解について深く学んだことで、社員に対する考え方や姿勢が変わり、働く人の幸せについて考えるようになっていきました。指針受講後は山形支部の幹事となり、組織運営や会議の進め方を学びます。そうして指針や支部に参加することで、相談できる仲間ができ、孤独感がなくなっていきました。委員会・部会にも積極的に参加し、共同求人委員会では採用の最新情報や他社の取り組みを学び、食農部会では食に携わる企業との情報交換の

中で、企業間連携が生まれました。特に社員共育委員会は、自社の課題である幹部育成について、幹部社員研修の運営に携わることや講師として話をすることが学びになり、幹部を信じて任せ成長を促すことや社員がどのようなキャリアアップを希望しているのか話し合う必要性に気付きました。

同友会運動を企業経営に生かす

阿部氏は「企業経営と同友会運動は不離一体。最初に聞いた時は正直、同友会に都合のいい言葉だと思った。しかし、学べば学ぶほど、同友会で起きたことと会社で起きたことは同じ」と語ります。支部運営の中で、増強活動が思うように進まない時、それは幹事の同友会理念への理解が不足しており、増強の意義が感じられていないからです。それと同様に、自社で目標達成への進捗が良くない時は、社員が自社の理念への理解が不足しており、仕事の意義が感じられていない状態だと考えられます。このように、自社で起きたことを同友会に、同友会で起きたことを自社に置き換え、阿部氏は学びを実践につなげています。支部長の引継ぎを自社の事業承継を考える上での参考にし、同友会の10年ビジョンづくりの手法や考え方を自社のビジョンづくりに役立て、同友会を活用し続けています。

最後に阿部氏は「経営者の会合は色々あるが、同友会は経営指針でよく言うように、科学性・社会性・人間性の全てをバランス良く網羅している。これが同友会の特徴であり、良さではないか」とまとめました。

グループ討論では「役員として何を学び、どう実践してきたか？」をテーマとして、役員としての経験や同友会での活動が自社でどのように役立っているのかを共有しました。

参加者のアンケートでは「同友会の組織経営と会社の組織経営に通じるものがあると気付けた」「同友会はすべての面での学びがある」といった感想が寄せられました。



7月24日に行われた第2講は中小企業家同友会全国協議会 会長 広浜泰久氏(株)ヒロハマ 取締役会長)を講師とし「同友会の役割と使命～同友会運動の主体者として、同友会理念の体現者となろう～」と題した講義が行われました。

広浜氏は、同友会役員の役割を「同友会運動をしっかり理解し、推進する」「同友会理念を体現する」の2つに大きく分け、同友会理念と自社の実践について語りました。

同友会の三つの目的

まず「同友会の三つの目的」について、「よい会社をめざす」ための要点として「労使見解をベースに」「経営指針の一貫性」「公私を区別し規則を整備する『ちゃんとした会社』づくり」「個人レベルまで具体化された計画と振り返り」を提示。次に「よい経営者」に込められた先人の思いを語るとともに、科学性・社会性・人間性を同時に追求しながら人事生産性(社員の時間あたり付加価値)を上げ、高い科学性で人間性を担保するために経営指針を実践するという「よい経営者」像を語りました。そして、「よい経営環境をめざす」について、同友会が自助努力でよい会社、よい経営者を目指しながら改善の声を上げている団体であり、その姿勢と独自性により同友会の社会的地位が向上していると語りました。

自主・民主・連帯の精神

次に「自主・民主・連帯の精神」について、同友会の最大の特徴は、会員、事務局員一人ひとりが主体者として運動をつくり上げていく自負を持つ「自主」の団体であること、「民主」の精神で同友会の会議は全員一致を原則とし、いろいろな人の様々な意見を取り上げることで議論が本質的になり、全員が本当に腑に落ちた状態で決定ができると説明しました。そして「自主・民主・連帯の精神」の企業づくりへの展開について、缶部品製造業の自社が「缶の社会貢献を全面的に支援しよう」の理念の下、顧客の生産支援まで

事業を展開し、信頼を得て価格決定権を持つ業界シェア No.1の企業へ変革した事例や、理念を社員一人一人の行動計画まで落とし込み、業務と理念実践が一体となったことで社員が働く意義を感じられる企業になった事例を報告。さらに、「自主・民主・連帯の精神」を人間観へ展開することにも触れ、自他を決して貶めず、置かれた環境の中でその人の能力が最大限発揮されることが本当の人間尊重であると語りました。

国民や地域とともに歩む中小企業

そして、「国民や地域とともに歩む中小企業」について、本業で雇用を生み、給料を支払うことでその地域にお金を集めるという形での地域貢献こそ大切であると語るとともに、「地域」について「自社が影響を与えられる範囲」の視点で考えることを提起しました。

続けて、同友会の運動が起点である中小企業憲章、中小企業振興条例、中小企業魅力発信月間について触れ「同友会が先頭に立って中小企業のステータス向上に取り組まなければならない。今まで全国各地で行っていた運動を有機的につなげ、他団体とも連携し、同友会が新たなステージで運動を進める使命がある」と語りました。

グループ討論は「役員として何を学び、どう行動しますか？」をテーマに役員としてすべきことは何かを考え合い、活発に意見交換をしました。

第2講のアンケートでは「全社一丸体制のイメージがかめた」「自他を決して貶めない、謙虚な心を持つことが大切」といった感想が寄せられました。

今年度の役員研修会は阿部氏、広浜氏両名の講義から、同友会らしい役員とは何かと、同友会運動と自社経営をいかに両輪として進めていくかを学びました。同友会へ主体者として参加することで、例会や委員会・部会からは勿論、会運営や増強活動からも自社経営に活かせる学びを得ることができます。その学びを実践し、同友会理念の体現者となって、仲間を増やしながら自社を、そして地域をより良くしてまいりましょう。



学校と企業が力を合わせ若者が輝く地域をつくる

今年度の共同求人委員会は「『共育ち実践活動』の輪を広げ、人と企業と地域を育てよう！」のスローガンを掲げ、特に学校と連携した企画で地域企業の魅力を学生に伝える取り組みを強化しています。今回は7～8月に実施した3校でのイベントをご紹介します。

米沢女子短期大学・県内企業ワイワイ紹介セミナー

米沢女子短期大学にて7月8日、「県内企業ワイワイ紹介セミナー」が開催され、企業6社と学生10名が参加しました。米沢女子短大では昨年から学内での企業セミナーを開催しており、今回が3回目となります。

当日は、最初に参加企業が1社ずつPRを行い、経営者・採用担当者自ら業界の魅力や自社の独自性を熱くPRした後、座談会形式で企業セミナーを実施。(株)菓子工房COCOイズミヤ(置賜支部会員企業)のお菓子を楽しみながら、学生は業界や企業への疑問、社会に出る不安を率直にぶつ

け、各社の経営者、人事担当者が中小企業や自社業界の魅力、インターンシップの取り組みなどを熱く語り、和気あいあいと学び合うセミナーとなりました。



東北芸術工科大学共催・業界・仕事研究オンライン説明会

7月11,12日、東北芸術工科大学との共催で「業界・仕事研究オンライン説明会」を開催。2日間で会員企業12社に対し延べ30名以上の芸工大生が参加しました。この説明会は3年生を中心とした全学年を対象とし、中小企業の役割や働き方を学ぶとともに、幅広い業界の企業を見ることで視野を広げ、インターンシップやキャリア選択に役立てる機会として位置づけられました。

2日間にわたって経営者・採用担当者、先輩社員が業界の位置づけや存在意義、そして自社の理念・ビジョン・業務内容等を語り、学生も熱心に聞き入り時には質問もぶつけるなど、実りのある説明会となりました。近年、東北芸術工科大学とはインターンシップでも連携しており、さらに関係を深める機会にもなりました。

大原学園山形校・合同企業研究セミナー

花笠まつり初日の8月5日、大原学園山形校では初開催となる学内合同企業研究セミナーを開催し、企業11社、学生9名が参加しました。本セミナーは1,2年生の両方が参加し、就活生への採用情報提供のみならず、1年生の企業研究、インターン情報提供も目的として企画されています。

佐藤委員長のあいさつと参加企業の一言PRののち、各社がブースを設ける合同企業説明会スタイルでセミナーがスタート。全参加者が最初から最後まで参加して各企業の説明を聞き、積極的に率直な質問を投げかけ、企業側は熱意を持って応えました。最後には学生代表から「様々な業種を学

べる貴重な機会をいただきありがとうございました」と感謝の挨拶があり、盛会裏に閉会しました。



参加した学生からは「スマホではわからない情報がたくさんあった」「インターンシップの参加を決められた」と、学生との距離が近いイベントだからこその声が多数寄せられました。これらの取り組みは、就活がオンラインへと移行する中、学生と企業が近い距離で語り合う重要性を再確認する機会にもなっています。

今後も、9月には山形大学学内合同企業説明会、冬季に各学校就職担当者との懇談会を予定しています。共同求人活動は、単なる採用活動にとどまらず、採用から育成まで共同の力で取り組み、地域に人を残し育てる活動です。共同求人委員会は、これからも企業、学校、若者が共に育ちあう実践運動を進めます。

9月例会のご案内

山形支部

**社員が辞めない会社をつくる！
～社員と一緒に目指した明るく楽しい職場づくり～**

2024.9.25(水) 16:00～18:30

場所：山形市市民活動支援センター高度技術会議室&Zoom
山形市山形市城南町1-1-1 震城セントラル23階 ☎023-647-2260

報告者：城北電気工事(株) 代表取締役 伊藤誠氏

若手・中堅社員が辞めてしまうことに悩んでいた伊藤氏。そんな状況を変えるため、給与や待遇の改善が必要と考えますが、どうすれば良いかが見いだせません。そんな折、社員共育委員会に参加し、その答えを求めますが、伊藤氏に投げかけられた問いは「そもそも伊藤さんの会社には社員が育つ仕組みはあるの？」というものでした。そこから伊藤氏の社員共育委員会での学びが始まります。「共に育つとは？」「人間尊重の経営とは？」「会社はどこまで社員と関わる必要があるのか？」自問自答しながら学んだ10年分の実践報告です。

寒河江支部

**同友会と本業は不離一体
～同友会で何を学び、どう実践してきたのか～**

2024.9.30(月) 18:30～20:30

場所：寒河江市技術交流プラザ
寒河江市中央工業団地153-1 ☎0237-86-1991

報告者：(株)山形ビッグファーム 代表取締役 阿部秀顕氏(山形同友会副代表理事)

親子2代で同友会に入会され、経営指針をつくる会や各種委員会へ積極的に参加し「同友会を使い倒す」を実践し続けてきた阿部社長。「同友会がなければ今はない」と語る阿部社長のこれまでの軌跡をご報告いただき、同友会活動より本業の発展につなげるためのヒントを学びたいです。
皆さまぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

さくらんぼ支部

同友会を活用し続けたストーリー

2024.9.30(月) 15:00～18:00

場所：まなびあテラス講座室 A・B&Zoom
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0230

報告者：(株)Hair with Water 代表取締役 松田治美氏

お母様から引き継いだ美容室を絶対につぶさないという思いの中、松田氏は同友会で「学んで実践」を繰り返してきました。2009年に経営指針をつくる会を受講し、経営指針書に基づいた経営に舵を切り、社員共育委員会、女性部会で学びながら、自社に起こることを自責し、改善に取り組んできました。「社長が会社をよくすることで、関わる人の人生をよいものにすることができる」と語る松田氏から同友会で何を学び、どう実践してきたのか赤裸々にご報告いただきます。皆様のご参加をお待ちしています。

女性部

**ココ・デ・カシエツ イズミヤ訪問例会&
TEAタイム交流会**

2024.9.19(木) 14:30～16:00

場所：ココ・デ・カシエツ イズミヤ
東置賜郡高畠町大字亀岡4676 ☎0238-20-6668

報告者：(株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏

女性部例会は、今年4月場所を新たにオープンした、ココ・デ・カシエツイズミヤさんを訪問し、おいしいケーキやドリンクをいただきながらのTEAタイム交流会です。現地集合での開催です。庄司氏のこれまでの歩みとこれからの展望についてミニ報告を聞きながら、自身や会社の夢、そしてこれからの展望を自身の言葉で語る機会にしましょう。皆様のご参加をお待ちしています！
※定員は先着18名となります。お早めにお申し込みください。

置賜支部

誰もが活躍できる「働き方」を考える

2024.9.26(木) 18:30～20:30

場所：伝国の社
山形県米沢市丸の内1丁目2-1 ☎0238-26-8001

報告者：肉の中村・衛ミートの元気商事 代表取締役 中村明美氏

労働人口が減少している現代社会において、外国人や障がい者も含めた多様な人材を受け入れ、社員それぞれに合った働き方で実力を発揮してもらうことは重要です。衛ミートの元気商事は山形市で食肉加工と加工品の販売をおこなっています。手間暇をかけた手造りの味にこだわっており、加工の現場では子育て世代の女性も活躍しています。2020年に経営指針を作成し、社員と話し合いながら働く環境づくりを行ってきた中村氏の実践報告から、より人にやさしく、誰もが活躍できる職場環境をつくるために何をすべきかを学びたいです。皆さまぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

庄内支部

**働きやすい職場環境をつくろう
～指導に悩んでいる社員はいませんか？～**

2024.9.26(木) 15:30～18:00

場所：マリカ東館 第1研修室&Zoom
鶴岡市末広町5-1 ☎0235-23-2200

報告者：(株)タマツ 代表取締役 玉津弘之氏
(株)こころね 代表取締役 中條央崇氏

庄内支部9月例会は、地域共生委員会による初めての例会となります。地域共生委員会は「[人を生かす経営]を学び、違いを受け入れる風土をつくろう」というスローガンの下に、障害者雇用をはじめとした、誰もが輝ける会社、社会を作ることを目的としております。

この度は、誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む実践報告として、(株)タマツ 玉津弘之代表取締役及び(株)こころね 中條央崇代表取締役にご報告をいただきます。またグループ討論では、ワークショップを用いて実際に業務の細分化を体験できます。

空気が読めない…伝わらない…業務の見直しや指示の出し方の振り返りや、誰もが輝ける職場づくりにどうぞお役立てください。

ぜひご都合合わせの上ご参加いただけるようお願い申し上げます。

新庄最上支部

**ある日、社員がうつ病になったら…
あなたはどうしますか？**

2024.9.24(火) 18:30～21:00

場所：わくわく新庄 会議室 & Zoom
新庄市下金沢町15-11 ☎0233-23-0197

講師：社会保険労務士法人ルート企画 代表社員・社会保険労務士 菊地仁士氏
社会保険労務士 早坂 恵氏

うつ病、適応障害、統合失調症……社員の精神的不調に関するトラブルは増加傾向。労働者保護の制度は年々改善されていますが、その対応に追われる経営者を保護する仕組みはほとんどないのが実情です。経営におけるメンタルヘルスのトラブルにあたっては、適切に状況を把握し、正しく就業規則を運用し、腫物扱いせずに社員に向き合うことが重要ですが、そのためには、ことが起こったからの対応だけでなく、平時の心構えや制度設計 / 運用もとても重要になります。

新庄最上支部の9月例会では、さくらんぼ支部からルート企画の菊地社労士、早坂社労士にお越しいただき、メンタルヘルス対策の注意点とやるべきこと、不測の事態に対応できる企業づくりを学びたいです。

一人でも誰かを雇用しているのならば、必ず学ぶべき内容です。ご参加お待ちしております！

第4回理事会報告

◆日時:2024年8月7日(水)午後3時00分~午後4時50分 ◆会場:TISカンファレンスルーム ◆議長:小川副代表理事
◆出席者:(敬称略)川合、菅原、阿部、後藤(智)、小川、庄司、笹林、後藤(康)、菊地、武内、前盛、東海林、飯野、井田、小野、鍾水、小寺、平形、佐藤(奈)、事務局矢作、芳賀、青木、上遠野

■開会挨拶

川合代表理事より「今上期の倒産件数は5千件に近く、過去10年で最高の件数という。倒産・廃業により特に地方は疲弊する。地元のインフラが崩れ、雇用が維持できなくなり人は流出してしまう。コロナなどの不測の事態には必ず支援が必要だが、一定の期間を乗り越えた後は、自助努力が中心となる。同友会で力を合わせ、多くの人を巻き込みながら学んでいくことが肝要ではないか」と挨拶がありました。

■学習会

菊地理事の進行で労務に関する学習会を行いました。

■報告事項

- 1) 中同協第56回定時総会(宮城)7/4~5
文書報告がありました。
- 2) 2024年度7月月次報告
矢作事務局長より報告がありました。
- 3) 2024年度7月月次決算報告
矢作事務局長より報告がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 3名退会 489名

■討議事項

議題1: 県北部大雨被害について

後藤代表理事より、7月25日からの大雨による会員企業の被害状況と規約に基づき見舞金を贈ることの報告がありました。その上で、会員外では事業再開に時間がかかる企業も出ていることから、BCP作成・点検の呼びかけがありました。

議題2: 役員研修会のまとめ

菅原代表理事が「役員研修会は役員としての醍醐味を感じ、学びを活かすために大切な場であるが、参加人数に課題を残した」と振り返った後、参加者の感想・意見の集約を行いました。次に矢作事務局長より収支報告が行われ、承認されました。

続いて菅原代表理事より、広浜会長から話があった中同協役員研修会の設営について提案があり、2026年度開催に向けて立候補することを決めました。

議題3: 40周年記念式典について

小川副代表理事より、40周年記念式典について下記の提案があり、承認されました。

- 日時:2025年11月
- 会場:ホテルメトロポリタン山形
- 企画内容:記念式典・記念講演・グループ討論・祝賀パーティー
(講師:拓殖大学政経学部 教授 山本尚史氏)

議題4: 第21回経営研究集会について

後藤(康)理事より、第21回経営研究集会について下記の提案があり、承認されました。

- 日時:2024年11月18日(月)
- 会場:ホテルメトロポリタン山形
- 講師:藤田建設工業(株) 取締役会長 藤田光夫氏(福島同友会相談役)

議題5: 2025新春交流会について

武内理事より、さくらんぼ支部が設営を担当する2025新春交流会の講師候補の提案があり、承認されました。

議題6: 組織委員会より

1) 組織委員会の報告

菅原代表理事より、各支部・委員会・部会の直近の活動状況を確認した上で、会勢の目標達成に向けての取り組み、e-doyuの案内の仕方やHPのアクセス件数減少の課題、同友会を知る会への新会員の参加呼びかけ、金融に関する学習会の開催などの議題で討議したことが、報告されました。

2) 同友会知る会の予定

日 時	会 場	歴史と理念	体験報告
8月30日(金) 13:00	同友会事務局	菅原代表理事	長谷川吉之介
9月10日(火) 15:30	公益ホール	阿部副代表理事	佐藤浩子
9月24日(火) 13:00	同友会事務局	阿部副代表理事	北村康平
9月24日(火) 18:00	アクティール米沢	菅原代表理事	鍾水伸一

議題7: 行政・他機関・団体からの依頼について

1) やまがた社会共創プラットフォームより

矢作事務局長より、リカレント教育に関する経営者向けアンケート依頼とセミナーの周知活動依頼についての説明があり、承認されました。

2) (一社)山形県発明協会より

矢作事務局長より、一般社団法人山形県発明協会が主催する「令和6年度中小企業等知的財産活動支援事業費補助金(中小企業知的財産支援事業)」「地域に埋蔵する固有の経営資源(知的財産)を発掘・融合して豊かな地域を共に創る知的財産活用アクション促進事業」の内容と、連携機関である同友会への共催依頼について説明があり、承認されました。また第2回知財活用経営セミナーの周知についても承認されました。

3) 令和6年度山形県事業「経営者と若者との座談会」

矢作事務局長より、9月19日の「経営者と若者との座談会(山形会場)」へ村山地区の製造業経営者の参加依頼があり、丸和熱処理(株)後藤章洋社長が出席すると報告がありました。

4) 山形県より「働きやすい職場づくりへ 企業交流セミナー」の周知依頼

矢作事務局長より「働きやすい職場づくりへ 企業交流セミナー」について説明があり、周知することが承認されました。

5) 山形市より中小企業振興条例に基づく意見交換会の出席依頼

矢作事務局長より、川合代表理事と菅原代表理事が出席する予定との報告がありました。

■その他

1) 今後の予定について

- ・8月8日(木)経営指針をつくる会第3講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・8月20日(火)組織強化:会員増強全国交流会(Zoom)
- ・8月21日(水)幹部社員研修2講(流通団地会館)13:30~
- ・8月30日(金)中同協経営労働委員会(Zoom)
- ・9月4日(水)若手社員研修(流通団地会館)10:00~
- ・9月5日(木)経営指針をつくる会第3講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・9月11日(水)中同協女性部連絡会(東京)
- ・9月12日(木)~13日(金)北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会(秋田)
- ・9月13日(金)北海道・東北ブロック代表者会議(秋田)
- ・9月19日(木)~20日(金)青年経営者全国交流会(宮崎)
- ・10月2日(水)新入社員フォローアップ研修(流通団地会館)9:00~
- ・10月10日(木)経営指針をつくる会第4講(TISカンファレンスセンター)9:00~
- ・10月16日(水)中同協第2回幹事会(Zoom)13:00
- ・10月22日(火)~23日(水)中同協役員研修会(北海道)
- ・10月23日(水)~24日(木)北海道・東北ブロック事務局長会議(北海道)

2) 今後の常任理事会と理事会日程について

第5回常任理事会	9月4日(水)16:00	第5回理事会	9月11日(水)15:00
----------	--------------	--------	---------------

■閉会挨拶

後藤代表理事より「今もゲリラ豪雨のような激しい雨が降っているが、皆さんもう一度自社のBCPをご確認いただければと思う。これから行事が盛りだくさん。必ず自社の経営に役立つ内容なので、ぜひ積極的にご参加ください」と挨拶がありました。

新会員 紹介

さとう ゆうじ
◇ 佐藤 雄次氏
(株)東北消防設備
代表取締役社長
消防設計設備・施行
山形支部

かんの ゆうた
◇ 菅野 裕太氏
(株)杵屋本店
取締役部長
菓子製造販売
山形支部

わたなべ だいすけ
◇ 渡部 大輔氏
(株)東京海上日動パートナーズ東北
保険業
置賜支部

会員変更

●城北電気工事(株) 課長 長澤秀幸氏 ⇒ 総務部長兼総務営業課長 伊藤綾氏(山形支部)

同友やまがた9月号 (2024年9月1日発行/通巻378号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304
URL:https://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp